

対スリランカ民主社会主義共和国 事業展開計画

2020年8月現在

基本方針 (大目標)	包摂性に配慮した質の高い成長の促進
---------------	-------------------

重点分野1 (中目標)	質の高い成長の促進
----------------	-----------

開発課題1 (小目標) 成長のための 経済基盤整備	【現状と課題】 スリランカは、2009年の国内紛争終了後、着実な経済成長を遂げている。 他方、GDPに比して債務残高が高く、財政再建を進めながら、中進国の罫に陥らず持続的な経済成長を続けるためには、成長の基盤となるインフラ整備の推進や、国内外の投資や産業の高付加価値化の推進が課題である。また、経済成長による都市化・人口増に伴い、水需要や下水・固形廃棄物量の増大への対応も急務である。			【開発課題への対応方針】 一層の経済活動の活性化に不可欠な国内及び国際的な連結性の向上に必要な運輸交通インフラの整備、安価で安定した電力供給、情報通信技術の改善、環境対策・衛生状況の改善への取組を支援する。これらは我が国進出企業の活動にも寄与するものであり、我が国技術の活用も視野に入れつつ、積極的に支援する。 また、これらを支える政策立案・制度改善に必要な人材の育成や公的部門の改革を支援する。									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2019 年度 以前	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	支援額 (億円)	備考	
		全国の道路網整備に加え、コロンボ都市圏における渋滞改善に資する都市交通システムの整備等を通して、経済成長と格差是正のための国内連結性の向上を支援する。 また、港湾・空港のキャパシティ拡大と運営の効率化による国際競争力の強化を通して、インド洋地域のハブとしての機能強化を含む域内連結性の強化を支援する。 加えて、「自由で開かれたインド太平洋」の実現のため、海上安全や海上環境保全の向上を通して、自由で開かれた海洋秩序の構築・維持を支援する。	経済社会開発計画	無償	■						10.00	港湾設備関連機材の供与	
			海上安全能力向上計画	無償	■						18.30		
			油防除対応能力向上アドバイザー	個別専門家		■							
			海上保安政策プログラム	課題別研修他		■							
			バンドラナイケ国際空港改善計画フェーズ2（第一期）	有償		■	■	■	■	■		289.69	
			バンドラナイケ国際空港改善計画フェーズ2（第二期）	有償		■	■	■	■			454.28	
			国道主要橋梁建設計画	有償		■						123.81	
			ケラニ河新橋建設計画	有償		■	■	■	■			350.20	
	コロンボ都市交通システム整備計画（第一期）		有償		■	■	■	■	■		300.40		
	コロンボ南港東コンテナターミナル整備事業準備調査		協準		■								
	地方産機材ノン・プロジェクト無償資金協力	無償		■	■					5.00			

電力事情改善プログラム	計画策定や施設・設備整備を通して、我が国の支援で策定された電力マスタープラン（2018）で提案された、費用対効果、再生可能エネルギーの積極導入、電力の安定供給等を考慮したベストミックスの実現を支援する。	ハバラナ・ヴェヤンゴダ送電線建設計画	有償		95.73
		大コロポ圏送配電損失率改善計画	有償		159.41
		全国送配電網整備・効率化計画	有償		249.30
		電力セクターマスタープラン実現に向けた能力向上プロジェクト	技プロ		5.00
		エネルギー政策	国別研修（長期）		
上下水道・環境改善プログラム	大都市圏の既存給水施設の拡張や給水効率の向上、地方部の給水施設の整備、また、無収水対策を含む上下水道施設の維持管理能力の向上を通して、給水状況の改善を支援する。 また、下水道施設の整備等を通して、生活環境の改善を支援する。 加えて、中進国入りや都市部の人口集中と廃棄物排出量の増加を踏まえて、中間処理や最終処分を含めた、適切な廃棄物管理の体制整備を支援する。	アマラダブラ県北部上水道整備計画（フェーズ1）	有償		51.66
		アマラダブラ県北部上水道整備計画（フェーズ2）	有償		231.37
		カル河上水道拡張計画（第一期）	有償		318.10
		キャンディ市下水道整備計画	有償		140.87
		国家上下水道公社西部州南部地域事業運営能力向上プロジェクト	技プロ		3.60
		西部州における廃棄物マスタープラン策定支援プロジェクト	技プロ		3.20
		都市開発計画能力強化プロジェクト	技プロ		
		上水道向け広域監視制御システム普及促進事業	民間提案型技協		
		自己処理型水洗式バイオトイレの普及・実証事業	普及・実証・ビジネス化事業		
		安全な水への公平なアクセスの実現に資するPSVシステムの普及・実証・ビジネス化事業	普及・実証・ビジネス化事業		
		水道分野中核人材育成	国別研修（長期）		
		公立学校を拠点としたゴミ問題解決のためのグリーンユース・コミュニティ形成事業	草の根技協		
政策・制度改善人材育成プログラム	同国の質の高い成長や社会の安定を支える人材育成や政策・制度改善を通して、同国政府の政策立案能力や体制の強化を支援する。	人材育成奨学計画（JDS）	無償		2.69
		効果的な公共投資管理のための能力強化プロジェクト	技プロ		
		イノベティブ・アジア	国別研修（長期）		
		SDGsグローバル・リーダー・コース	国別研修（長期）		
		新興国金融行政研修	金融庁技協		
		人材育成分野の課題別研修他	課題別研修他		
情報通信技術発展プログラム	既存システムのデジタル化により、情報通信技術の技術革新を支援する。	地上テレビ放送デジタル化計画	有償		137.17
		地上デジタル放送推進プロジェクト	技プロ		

重点分野3 (中目標)	脆弱性の軽減
----------------	--------

【現状と課題】
 同国では、国内紛争終結後、順調に経済発展を遂げる一方で、依然として国民生活における脆弱性が高い。防災分野では、気候変動等の影響により大規模な自然災害が発生し、政府や国民の災害に関する認識が高まる一方で、財政上の制約もあり災害発生後の事後対応が中心であり、事前の防災投資対策による被害軽減の取組が課題となっている。
 社会サービスについては、“Free education, Free health”がスリランカの独立以来の一貫した方針であり、その結果、所得レベルと比して高い識字率と良好な保健医療レベルを達成してきた。一方で、人口の高齢化が進み、経済成長に伴う生活習慣病を始めとした非感染性疾病（NCDs）による死亡率が増加しており、社会変化に対応した社会サービス基盤の整備が課題となっている。また、経済発展の一方で経済格差が深刻化しており、特に障害者の社会包摂は十分に達成されているとは言えない。障害者の社会参加を進めていくためには、教育や就労へのアクセスが課題となっている。
 さらに、2019年4月にスリランカで発生したテロを受けて、治安・ガバナンス強化が緊要な課題となっている。また、最近の新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を受けて、感染拡大防止に向けた支援が緊急に求められている。

【開発課題への対応方針】
 防災については、防災への事前投資の重要性や“Build Back Better”の考え方を含む仙台防災枠組み等の国際潮流、我が国が有する経験と知見を踏まえ、中央及び地方レベルの防災計画の策定や防災インフラの整備を支援する。
 社会サービスについては、NCDs対策を中心とする診断・治療の強化や管理体制の強化によるサービス向上とコスト削減、高齢者ケアへの取組を支援する。また、教育体制の整備や就労支援システムの整備を通して障害者・児を含む脆弱層への社会サービス基盤改善に係る取組を支援する。さらに、暴力的過激主義対策や違法薬物対策支援、女性のエンパワーメント支援を通じて、治安・ガバナンス強化に係る取組を支援する。

協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	年度						支援額 (億円)	備考
				2019 年度 以前	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度		
開発課題3 (小目標) 脆弱性軽減 のための 社会基盤整備	我が国の防災分野における多くの経験と高い知見を活用し、①中央及び地方レベルでの能力（組織的、法制度的、政策的枠組等）の強化、②リスクモニタリングや中央及び地方における防災計画の策定と実施、防災の主流化、ハード及びソフト対策等による潜在的な災害リスク要因の削減、③コミュニティを含む早期警戒体制の整備を通して、災害のリスクと被害軽減を支援する。	国道土砂災害対策計画	有償	■						76.19	
		気象ドップラーレーダーシステム整備計画	無償	■	■	■	■	■		25.03	
		土砂災害リスク軽減のための非構造物対策能力強化プロジェクト	技プロ	■	■	■				2.06	
		流域戦略に基づく地方防災計画策定を通じた防災主流化促進プロジェクト	技プロ		■	■	■	■		3.20	
		スリランカにおける降雨による高速長距離土砂流動災害の早期警戒技術の開発	科学技術		■	■	■	■	■	3.50	
		コロンボ都市圏雨水排水対策計画策定プロジェクト	開発計画	■	■					2.20	
		スリランカ防災行政アドバイザー	個別専門家	■	■						
		地すべり遠隔監視システムの普及・実証事業	普及・実証・ビジネス化事業	■	■						
		仙台防災枠組に貢献する防災中核人材育成	国別研修（長期）	■	■	■					
		スリランカ国の災害対応における官民パートナーシップ促進および緊急対応の能力強化事業	日本NGO	■	■	■				1.32	

社会サービス (保健医療、高齢化対策、教育、福祉、社会安定)プログラム	保健医療セクターについては、NCDsの早期発見、診断、治療サービス向上のために、医療機関の施設整備や機材整備、人材育成等に関する支援を行う。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の支援を行う。高齢化対策については医療・介護サービス導入に向けた支援を行う。 教育、福祉セクターについては、障害者の社会参加の促進に向け、障害児教育や障害者への就業支援等の支援を行う。 社会安定に向けた対策については、違法薬物対策や女性のエンパワメントに資する支援を行う。	保健医療サービス改善計画	有償							106.39	
		女性及び若者のための性及び生殖に係る健康及び権利並びに性別に基づく暴力に係る情報及びサービスへのアクセス改善計画	無償							1.63	国連人口基金 (UNFPA) 連携
		コミュニティにおける高齢者向けサービス運営能力強化プロジェクト	技プロ							2.60	
		インクルーシブ教育アプローチを通じた特別なニーズのある子どもの教育強化プロジェクト	技プロ							3.00	
		スリランカにおける障害者の就労支援促進プロジェクト	技プロ								
		紅茶プランテーション農園における青年層を活用した学童補習活性化事業	草の根技協								
		教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.20	
		保健医療分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.10	
		あんまマッサージ指圧訓練コースの設立・運営による視覚障害者の雇用促進事業	草の根技協								
		薬物犯罪取締	国別研修								
		違法薬物の使用防止強化	国別研修								
		スリランカに対する国際機関経由の新型コロナウイルス対策支援	マルチ							2.21百万 USD	国際連合児童基金 (UNICEF)、国際移住機関 (IOM)、国際赤十字赤新月社連盟 (IFRC)、国連プロジェクト・サービス機関 (UNOPS)
		その他個別の案件	経済社会開発計画	無償							2.00
経済社会開発計画	無償								8.00	保健・医療関連機材の供与	
経済社会開発計画	無償								12.50	テロ・治安対策機材の供与	
国際テロ対策	国別研修										
スリランカに対する国際機関経由のテロ・暴力的過激主義対策支援	マルチ								3.95百万 USD	国連薬物・犯罪事務所 (UNODC)	
自由・公正な総選挙実施を通じた民主化推進計画	草の根無償							0.05			

【凡例】 「協定」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」、実績「-----」(=実施期間)、破線「----」(=実施予定期間))

※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。